※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)地理特講	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「最新地理図表 GEO」（第一学習社）　「地理統計要覧　2026 年版」（山川出版社） 「共通テスト実力トレーニング　地理　2026」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究の内容をいっそう深め、世界認識と地域構造のあり方についての理解を深めることを目的としています。その上で、問題演習に取り組み、自ら進路を切り拓く力を養います。

2　学習の到達目標

a.知識及び技能

地理探究の内容をいっそう深め、特に地誌的分野における地理的事項に関して、正確な知識を身に付け理解することができる。また、地理に関する諸資料について、さまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

b.思考力、判断力、表現力等

地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連などを、多角的・多面的に考察することができる。

c.学びに向かう力、人間性等

地理に関する諸事象について、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・国ごとの特徴を理解している。 ・地図・グラフ・表・統計の内容を読み取ることができる。 ・問題を解くうえで必要な知識・技能を身に付けている。	・国ごとの共通点・相違点を読み取り、説明できる。 ・資料などから読み取った内容を整理し、説明することや問題を解くことができる。	・物事を多面的・多角的に判断しようとしている。 ・発表に必要な情報の収集や技術の習得などに取り組んでいる。 ・入試に必要な力を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	国ごとの比較	インドと南アフリカ 中国とブラジル ニュージーランドとフィリピン トルコとモロッコ	a:基本的な地誌の内容を理解している。 b:地図・表・グラフなどから国ごとの共通点・相違点を読み取り、説明できる。 c:国の特徴をつかみ、それぞれの共通点・相違点を理解しようと努めている。	定期考査、小テスト等	定期考査、レポート等	レポート等
	資料等の読図	地形図 雨温図・ハイサーグラフ 主題図 資料	a:資料などから内容を読み取ることができる。 b:2つ以上の資料から内容を読み取り、共通点・相違点を説明できる。 c:資料などから読み取り、相違点などを理解しようと努めている。	定期考査、小テスト等	定期考査、小テスト等	レポート等
	世界の抱える課題の追究	国を選んで探究活動 発表	a:地誌の内容を踏まえたうえで、問題点・改善点を理解している。 b:資料などを効果的に使い、説明することができる。 c:聴衆側の生徒に分かりやすい資料の作成など、発表を円滑に進めるための準備を行っている。	定期考査、小テスト等	定期考査、レポート等	発表、レポート等
後期	系統地理	自然環境 資源と産業 国家・交通・通信・貿易 人口、村落・都市 生活文化、民族・宗教 地球的課題	a:地理的諸事象を多面的・多角的に理解することができる。 b:資料などから系統地理の特徴を読み取り、情報を整理することができる。 c: 問題演習を通じて、入試に必要な力を身に付けようとしている。	定期考査、小テスト等	定期考査、レポート等	レポート等
	地誌	アジア、アフリカ ヨーロッパ 南北アメリカ オセアニア 北極海周辺	a:系統地理の内容を踏まえて、地誌の内容を理解している。 b:各地域の特徴を資料などから読み取り、情報を整理することができる。 c:問題演習を通じて、入試に必要な力を身に付けようとしている。	定期考査、小テスト等	定期考査、レポート等	レポート等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度